

ビブリア

発行 いわき市平上荒川字長尾30
福島工業高等専門学校
編集 図書委員会 ビブリア編集部
平成11年2月15日

福島高専図書館報 第86号

巻 頭 言

あなたも3ヶ月でその道の玄人筋になれる。

もう35年以上も大学、高専で教官をしてきました。その間、160名もの卒業研究生と共に実験をしてきましたが、研究テーマを決めるのも、やり方を決めるのも先人の報告を探し求めることとなります。情報探索は、研究のかなめとなります。できるだけ早く質の良い情報を探さなければなりません。

ご存知のとおり、その方法は、時代とともに変貌してきました。、学生時代に身につけたやり方は、大きな図書館で古い本を借り出し、1ページごとに写真に撮り、印画紙上で読み取ることがなされていました。懐かしい思い出話にしかありません。現在は、コンピュータにファイルされているものは、それを効率的にいただき、2次的に3次的に各文献のリファレンスから必要なものを抽出してゆきます。

抽出方法は、仕事にたいする個人的な価値観です。情報の検索は、できるだけ自分で行う必要があります。それは個人的な興味や、何が面白いかが人

により異なるからです。できれば共同研究者が3人以上いることが望ましいことです。お互いに面白いと考えるものを集めるのです。世界中でほぼ同じテーマを行っている人は多くて20人以上となることはまれです。そうすると、世界中で誰が今、何をしており、どんなことを考えているかがわかってきます。各研究者のアドレスをインターネット上で探し、コンタクトも可能になります。あなたは、なんと3ヶ月で玄人筋になれるのです。

もちろん、文献に書かれている事柄を文章的にも論理的にも理解しなければなりません。それには、20年もの学校での勉学が役に立ちます。たとえわからないところがあっても、その筋の専門書を2、3冊紐解けば何とかあります。これからの時代は、素人と玄人のさかいが無くなる時代です。

世界一の情報通を自負して検索し、読みこなし、ちょっぴり生意気になったあなたも魅力的なものです。

<工業化学科教官 伊藤 宏>

目 次	巻頭言 (伊藤 宏) 1
	感想文コンクール最優秀作品 2
	卒業生による「私の推す一冊」 4
	図書館便り 13
	お知らせ 14

感想文コンクール 最優秀作品

出会い

電気工学科 1年 佐藤 健二

時に、一冊の本との出会いについて考えるときがある。それは、ちょうど一人の人間と出会うことのように、大切な事なんじゃないかと。毎朝通るあの道で、学校のなかで、街のなかで、何気なくすれ違うだけの人もいれば、ふとしたきっかけで知り合う人々もいる。そんな時僕は、自分以外の何かによる力、言うなれば「運命」というものを感じてしまうのだろうか。それは、本といえども同じことであり、どんなに活字離れが進んでいる世代でも、「運命の出会い」という本が一生のうちに必ず何冊かは現れるはずだ、というのが僕の持論である。しかし、物心ついたときから本ばかり読んでいた僕に置き換えてみても、残念ながらそのような経験には全く縁がないと言わざるを得なかった。そう、高校受験を控えた十五才の夏に、あの本に出会う時までには。

その本との出会いは、中二のころ、たまたま読んだその本の紹介文が最初だった。その時は別に気にもとめなかったが、そのなかのたった一節の文章だけが、妙に心に残っていた。それは、「ガラス細工のように繊細な少年の日の」という言葉だった。ガラス細工のように繊細な、である。僕はこれほどまでの的確な表現に出会ったことなど、一度もなかった。ガラス細工のように繊細な、それは正に、十五才の心なのだ。それは、透明でいて美しく、それでいて少しでも触れれば砕け散ってしまいそうで、儂い。その本に出会った時の僕の心は、ちょうどそんな状態だったのだ。時期も時期、僕がその本を手に入れたのは、よりもよって期末試験の前日だったのである。もちろん、呑気に小説を読んでいる暇など無い。それでも僕は、今自分を包んでいる苛立ちの正体を知りたかった。この大人と子供の狭間に揺れる時期に、僕たちは何を感じ、何に戸惑い、何に悩んでいるのか。いま僕たちがすべきことは心の表面に漆喰でも塗り固めて、内面の見えない、丈夫な陶器の心を作ることなのだろうか。そうしなければ生きていけない世のなかに生まれてきたのだろうか。その答えを知るために僕ができることは、ただ一心不乱にページをめくることのみだった。

物語は、十五才の少年、良一が自殺を考えているところから始まる。学校の成績によってのみ決まってしまう自分の人生というものに嫌気がさし、ピアニストという自分の夢に逃げ場をもとめる良一。だが、その夢でさえ現実と理想とのギャップは激しく、次第に自信を失っていく。そんな時に出会った同じ十五才の重病患者、直美。そして野球部のエース、徹也との出会い。立場も、考え方も、夢も違う三人の織りなす危うく、切ない物語。

きっと、僕は知らない内に自分の姿を重ねていたのだろう。読み終える頃には、すでに真っ赤に目をはらしていた。何よりも、自分だけじゃない、それが一番うれしかった。欺瞞と虚構に満ちた社会、そして自分に、嫌気がさす毎日。でもきっと、人はそうやって、何かを一つずつ、学んでいくのだろう。学歴社会が生み出した十五才の混沌の時に学ぶべきことは、単語でも公式でも年表でもなく、友を欺く術でも、親の愚かさを嘆くことでもなかった。今は、社会に染まろうとするのではなく、自分の色を認識するための一年なのだ。この混沌の迷路の出口に見えるものは、自分自身の存在価値、つまりは希望にほかならないと、この本は教えてくれた。

もちろん、それからだって悩みが消えた日など一日たりとてなかった。むしろ、自分の行動に対して自信が持てない時のほうが断然多かった。けれど、いま自分の足跡を振り返ってみて、自分は間違っていなかったと、誰に対しても胸を張って言うことができる。

結局のところ、人間の人生というものは、大なり小なりの選択枝の連続だ。そんな時、あなたならどうするのだろうか。僕ならきっと、また本屋に足を運ぶ様な気がする。そう、例えば、その本によって導かれた高校の入学試験に、その本の文章の問題が出るような…。そんな「いちご同盟」の様な本との運命の出会いをもとめて。



感想文コンクール 最優秀作品

「時をさまようタック」

コミュニケーション情報学科 1年 北野澤 頼子

「不老不死の水」この水を飲めば年をとることも、死ぬこともない。永遠の命を手に入れることができるのだ。

もしこんな水が実在するとしたら、誰もがすぐに飲みたいと思うだろう。私もその一人かもしれない。だが、その水を飲んだ瞬間、運命の車輪からはずれた人間になってしまうのだ。私達は、それがどんなに恐ろしく、耐えがたいものなのか、考えた事はあるだろうか。

人間は、生まれた時から死を約束されて生きている。限られた時間、限られた人生の中で、自分のやりたい事をやり、そして、社会に貢献して死んでゆく。だからこそ、何事にも全力投球する事ができるのだろう。それは人間ばかりではなく、命あるものすべてに共通して言える事である。

この物語に登場するタック家の人々は、八十七年前に偶然にも泉の水を飲んでしまった。それが、不老不死の水だということも知らずに……。その結果、死ぬ事ができなくなり、人目のつかない山奥へと引っ越さなければならなくなった。そして、自分達が飲んでしまった泉の事は、秘密にしておいた。

そんなタック家だけの秘密を知ってしまったのは、わずか十歳の少女、ウィニーだったのだ。もし、私が彼女の立場だったら、どうなっていたのだろうか。すぐに、泉の水の事を教えたり、あるいは、その水で商売をしようとするかもしれない。それと同じ事を考えていたのは、秘密を盗み聴きした黄色い服の男であった。まさに、お金と不老不死という名の悪魔に取りつかれているといっても過言ではないだろう。

不老不死——。年をとらない、死ねないという事は、決して楽ではないと思う。逆にとてもつらいのではないだろうか。永遠に生き続けるという事は、自分自身の生きがいを見失う事に等しい、私は、そう考える。それは、結果的に何の変哲もない単調な毎日を送る事になるからだ。「死」という人生の終着駅があるからこそ、人間は、その生活に生きがいを見い出そうとする。人生から「死」を取り去ってしまえば、本来の生活に必要な夢や希望、そして、目標までもが姿を消してしまう

事になるだろう。

私も死ぬ事が怖いと思う。死にたくないと思う。しかし、それは、決して叶ってはいけない事なのである。

実をいうと、ウィニーは、秘密を知った後、ジェシー・タックから泉の水を受け取っている。つまり、いつでも死を避ける事が可能になったのだ。その水を飲むか、飲まないかは、すべて彼女の考え次第である。そして、彼女は、死を選んだ。

後にタックは、彼女の墓を訪れこう語った。「えらかったよ。」と。

「生きるということは、死があるからこそ価値があるんだ。死ななければ、何の価値もないのだ。」

この一言は、私の心に深く刻み込まれた。そして、「死」を失った彼らから、私は、多くの事を教えてもらった様に思う。誰もが恐れている老いや死。それとは逆にすばらしく思える不老不死。言い換えれば、死ぬ立場の私達と、死ねない立場のタック家の人々という事になるだろう。彼らは、人を愛し、季節のうつろいを感じ……そんな当たり前の生活を望んでいたに違いないのだ。

北野澤 頼子、十六歳——。私は、今まで、生きている事について何の疑問も持たなかった。その為に、たくさんの時間をロスしてきた。だが、この物語を通して、生きる事のすばらしさや大切さ、そして、「死」という存在の大きさを改めて実感できたと思う。私もいつかは、死を迎える日が来るだろう。それがいつになるか、まだわからない。だから、人生のゴールを目指して精一杯がんばろうと思う。そして、一日一日を大切に、価値のある生き方をしていきたいと思う。

タック家の人々へ——。私に「生きる」をありがとう。



卒業生による

「私の推す一冊」

【機械工学科】

「La Harpe」 劇団四季株式会社
この本の内容は、全国5大都市（東京、大阪、名古屋、札幌、福岡）で行われている公演情報やその他の地方での公演予定、俳優たちの素顔を紹介していたり、昔、劇団四季に関係のあった芸能人の方々など、ミュージカル好きにはたまらない内容のものです。書店では売っていないので要注意です。まず劇団四季に電話をして四季の会に入会すれば、毎月必ず届きます。ぜひお試し下さい。

「マキャベリ語録」

世紀末覇者にならんとする者は読むがよからう。

「絵本を抱えて部屋のすみへ」

江國 香織著・白泉社
全員とはいわないが、たいていの人は絵本を読んだ事があると思う。僕は今でも絵本が好きでよく読んでいたりしている。その絵本についてのエッセイ集がこれだ。絵本を読むと、優しい気持ちになれる。そういうことを絵本を読まなくなった世代の人達に思い出させてくれます。

「Soiree」 日本文芸社
なんて読むか分かりますか？ 正解は「ソワレ」と読みます。これはミュージカルを含む、演劇の雑誌です。代表的なものでいえば、あの宝塚歌劇団・劇団四季など日本の劇団や、ブロードウェイなどの海外ミュージカルの情報も盛りだくさんです。好きな人には好き、嫌いな人には嫌いという激しい本ですが、一度読んでみると何か新しい発見があるかもしれませんよ。

「1DKクッキング」

谷村 志穂、飛田 和緒著・集英社
それまで包丁もろくに握った事もなかった志穂さんのクッキング奮戦記。レシピもついているが、分量とかが「好きなだけ」とか、結構アバウトで料理をあまりしない人にも「やってみようかな？」と思わせてしまうような本。2冊目は引越したこともあって「2DKクッキング」。両方合わせてどうぞ。

「きらきらひかる」 江國 香織著・新潮社

純愛小説とはこういうものだと思ってしまった。精神病が正常の域を逸脱していない笑子と、ホモで愛人有りの睦月の奇妙な夫婦関係。それがどう純愛小説なのか・・・？ それは読んでのお楽しみ！！

「筋力パワーアップトレーニング」 ～勝つための科学的強化法はこれだ！～

花岡 美智子著・株式会社ナツメ社
こいつは「熱い！！」の一言に尽きる・・・が、「本当か？」というようなことも書いてある。でも本当なのだろう。頂点を目指す人に有効。

ついでにもう一冊。「トラトラトラ 真珠湾奇襲攻撃秘話」（ゴードン・W・ブラング著だったと思う。）これも熱い。

「覆面作家は2人いる?!」

北村 薫著・角川書店
普通じゃない感覚を持った新人作家が現れた。会いに行った編集者の岡部良介はびっくり。豪邸に絶世の美女。それが新妻千秋だった。家の中ではお嬢さまの千秋さんが門から出ると・・・。内弁慶ならぬ外弁慶。その行動力と非凡な感覚でもって難事件をも解決する名探偵に。冬にはともさかりえ、原田龍二主演でドラマ化しちゃいました。設定は多少変わっちゃっているけれど、こちらも楽しめる仕上がりになっている。この本はシリーズで3冊出ている。「覆面作家と愛の歌」、「覆面作家と愛の家」で、先の2冊は文庫化されていてお求めやすくなっている。日常の不思議なことから、殺人事件、活人事件まで幅広い推理が楽しめる。推理小説が苦手でも読みやすい本になっている。

「兵法」

孫子著

人間は常に戦うべきであり、戦いを忘却した人達が最近多いように感じられる。だから読むべきである。あと、孫子の兵法は宇宙の法則にのっとっているのだから、戦争以外にも使えて便利だ。



「ムーミン童話の百科事典」

渡部 翠著・講談社

僕は昔（1、2年前くらい）、「ムーミンに似ているね。」と言われたことがある。だからというわけではないがムーミンが好きだ。この本にはそのムーミンの秘密？がいっぱい載っている。実はミイとスナフキンは異父姉弟だったり（知ってた？）、もしかしたらムーミンの正体も分かっちゃうかもね。

「セロひきのゴージュ」

宮澤賢二の最高傑作、読め。

「現代殺人百科」

コリン＝ウィルソン著・青土社

これから殺人をしようとする人(?)におすすぬ。

「天使のみつけかた」

おーなり由子著。新潮文庫

天使は実在する(らしい)。いろいろな天使がいる(らしい)。ひるね天使、アイデア天使、さかな天使、失恋天使……。人が何かをしている時、たいていそこに天使がいて、いっしょになって騒いだり、泣いたり、笑ったり、応援してくれたり……。そんな天使たちのみつけかた。書き下ろしでイラストもついて、絵本感覚で読める。

「北斗の拳」

原作：武論尊 画：原 哲夫・集英社

真の漢(おとこ)として乱世を極めんとする者は読むがよい。

「どうしたハゲ。それまでか。」(ケンシロウ談)

「ただのおじさん」

ふくだすぐる著・岩崎書店

おじさんのところにはいろいろな動物がやってきます。この年で絵本を集めているのは変だろうか？ いやこの本を見てもらえれば絵本の単純なおもしろさ、驚きの感情、さらには複雑な人間関係が見えてくる！？ 続編「ただのおじさん2」も出て、1冊800円とお買い得！

「MINI. FREAK」 ナツメ出版

2ヶ月に一回発売。ちょっと値段が高いけれど、読むと車がほしくなる。自分はこの本に影響されました。

【電気工学科】

「広辞苑」 新村 出編・岩波書店

分からない言葉があったらこれを使おう。下手な本よりずっと役に立つ。これをもってだけで、教養があるように見えるのもいい。ただ、やけに重い。

「新C言語入門」

林 晴比古著、ソフトバンク

C言語を始めたかったらこれで始めるのを薦めします。

すごくわかりやすいです。こんないいC言語入門書見たことありません。いやホントに。「ビギナー編」「シニア編」「応用編」の三部作。

「研修医なな子」

某レディースコミックで連載中です。是非一度お試しあれ。

「頭の体操」

多湖 輝著・光文社

頭が柔らかくなります。
○日先生の出す問題が解けるようになります。
(謎)

「冠婚葬祭マナー辞典」

成人式でもらった。
社会に出て恥をかかないように読んでおけ。

「〒326」

326のポストカード集。泣けマス。うなずけマス。happyになれマス。いいんだなっ、これがっ！！

「モンテ・クリスト伯」

A・デュマ著

話の舞台はナポレオンが落ち、国が不安定なころの地中海近辺です。話は物語ですが、デュマらしく歴史に忠実で、当時の貴族社会が自分で見たもののようにわかります。

さて主人公ダンテスは正直すぎるあまり、幸福を不幸に変えられてしまいます。逆境を乗り越え、魅力のある人物に変わる彼の人生はとても興味深いものでした。

「ヒーロー神髓」

宮内 洋著

仮面ライダーV3(風見志郎役)を演じた、人間宮内洋が芸能生活30周年を記念して出版した自伝。「ヒーロー番組は教育番組だ。」と語る著者の役者観、そして人生観がうかがえる熱い一冊。

「空想科学読本」 柳田 理科雄著・宝島社
↑のようなヒーロー番組にちゃちゃいれて
ます。おもしろいっす。読んでみてくれ。

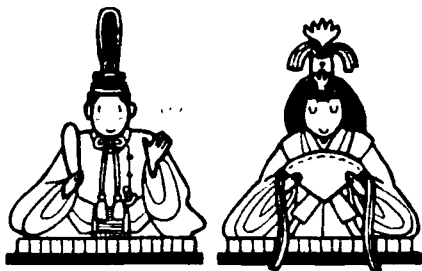
「遺伝的アルゴリズムの基礎」
伊庭 斉志著・オーム社
私の卒研のテーマ。
ふつーの人にはあまりやくにたたないかも。
しかし、GA（遺伝的アルゴリズム）のアイ
ディアを理解するには最高の入門書。
私はこれでGAがわかりました。
（本当のところ、白状しますとですね、実は、
まだ半わかりです。）

「マーフィーの法則」
科学的な法則なんかより、はるかに役に立
つ（？）法則が沢山載っている。
例えば「急いでいるときに限って、コピー
機の紙がなくなる。——コピー機に急いで
いることを知られてはならない。」
「少しでも0でない確率のある現象は、それ
が、人間にとって都合悪ければ、確率に関係
なく最悪のときに起こる。」
みなさん。思い当たるでしょう。そう、こ
の世は「マーフィーの法則」に支配されてい
るのです。???

「ビブリア」 福島高専図書委員会編
いろんな人が薦める本が書いてあります。
確か、今回で85号をこえていると思った。
全部持っている人はいるのだろうか？

「時刻表」
鉄道マニア必須のアイテム！
普通の人も一家に一冊。これで、一時間楽し
めるあなたは、立派なてっちゃん、道子さん。

「ユングは知っていた」
コンノケンイチ著・徳間書店
集合的無意識、シンクロニシティとは何
か？ などやさしく書いてある。
しかし、いつもそうだけど、コンノさんは
必ず、科学をあやしい方にもっていく。
これもいかがわしい。でも、だから面白い。



【工業化学科】

飯高 美咲
「後宮小説」 酒見 貫一著・新潮社
アニメ「雲のように風のように」の原作本。
肩のこらない歴史ファンタジー（？）です。
ちょっぴりアダルトな一冊。

上野 恵
「リング」 鈴木 光司著・角川書店
映画で上映された「リング」の原作本です。
続編として「らせん」と「ループ」もありま
す。

江尻 昌弘
「修羅の刻（4）」 川原 正敏著・講談社
今のところ全10巻です。特に4巻をおす
すめします。泣けます。

大竹 貴子
「きらきらひかる」江國 香織著・新潮文庫
言葉では語りつくせないくらい読んだ後ほ
のぼのとした気持ちになります。ぜひ一度読
んで江國ワールドにどっぷりとつかってみる
のはどうですか？

大津 茂一
「ケータイ着メロドレミBook 2」
ぼにいてーる編
ご存知着メロ編集の必須アイテム。今持っ
ているケータイの着メロが飽きちゃった人は
試してみる価値アリ！

大原 由美子
「村上 龍自選小説集1 消費される青春」
村上 龍著・集英社
この本は「69」「KYOKO」「限りな
く透明に近いブルー」などが入ってます。い
ろんな意味で消費される青春です。

岡本 健
「シティハンター」北条 司著・集英社
ミニはかっこいい。

菅野 平
「銀河鉄道の夜」 宮澤 賢治著
この本の表現に、「夜間飛行」と似た感じ
を受けました。生と死の境にいるときに、夜
空を見ると、そこには静かできれいな世界が
広がっているのかもしれないです。

草野 麻美

「ホリー・ガーデン」

江國 香織著・新潮文庫

読んだ後、何ともいえない、やさしい気持ちになれる作品。こんな自由な生き方をしてみたいと思わせた一冊です。

公平 和恵

「マディソン郡の橋」

大人の恋愛のはなし。これからのあなたに おすすめします。

佐藤 広樹

「ふたり」

赤川 次郎著・新潮文庫

映画化やドラマ化もされた名作。今読み返してみても、ラストシーンではつい涙ぐんでしまう。活字が苦手な人も一度読んでみては？

佐藤 梨絵

「明け方の夢（上、下）」

シドニー＝シェルダン著・アカデミー出版
サスペンス小説。暇な方は時間つぶしに読んでみて下さい。

澤田 拓巳

「いいひと」

高橋 しん著・小学館

山梨学院大学陸上部OBの高橋しんさんによる一作。これを読んで「いい人」を目指そう。意外に陸上に詳しくなれるかもね。

鈴木 章喜

「巖窟王」

アレクサンドル＝デュマ著・ポプラ社

「ショーシャンクの空に」「スリーパース」など数多くの映画のもとになった本。原作は2000ページを超える超大作だが、生きているうちに必ず原作を見つけだし読みたいと思う。この作者は他にも「モンテクリスト伯」「三銃士」等のとても有名な作品を書いている。ディカプリオが出演した「仮面の男」も三銃士の鉄仮面伝説の話の一部である。

デュマの作品の中でも「巖窟王」はとてすばらしい。

鈴木 健之

「化学工学概論」

大竹 伝雄著

化学工学に関する様々な事柄が載っている一冊。

千田 幸英

「ジョジョの奇妙な冒険」

荒木 飛呂彦著・集英社

イギリスの貴族ジョースタ―卿は命の恩人の息子ディオを養子としたがディオがアステカの石仮面をかぶったことにより、世代を越えジョースタ―一家に奇妙なことが起こり続けることを描いた本。

寺山 進

「メロドラマ（全2巻）」

村上 もとか著・講談社

1925年、巴里に赴任した大日本帝国陸軍大尉と、仏国人伯爵家の令嬢との恋愛劇。内容と関係ないことだが、日本と違って趣深く調和のとれた街並みが見ていて快い。

内藤 忠相

「変身」

フランツ＝カフカ著・角川書店

有名な本である。

成田 圭介

「リバイアサン 1999」

景山 民雄著・角川文庫

太陽系の惑星が巨大な十字に並ぶという「グランドクロス」、この現象をテーマにしたSF。世紀末の地球にいったい何が起こるのか。この本のようになることも一つの可能性であることに間違いはない。

松浦 美里

「限りなく透明に近いブルー」

村上 龍著

おもしろいとか、そういう言葉では表せない、内容が濃い一冊です。読んだことがない方はぜひ読んでみて下さい。

福士 美奈子

「本当は恐ろしいグリム童話」

桐生 操著

夢の多い話だと思っていたグリム童話に対する感じ方が一転して恐怖となる一冊。

吉田 友紀

「アキラ」

大友 克彦著

スゴイジダイニナッタ。トテモテクノナハナシ。

もしくは

「ネリモノ広告大全集」

中島 らも著

メッケメケ。この人は人生のスペシャリストだ。

渡邊 幸次

「殺し者志願」

赤川 次郎著・角川文庫

誰もが心の中に持っている殺意、その殺意を「殺したら、」という一本の電話が……。

【土木工学科】

芥川 陽平

「沈黙の春」 レイチェル＝カーソン著、
青樹 築一訳・新潮社

かけがえのない地球のために生涯をかけて闘ったR・カーソン。彼女の、また全世界の人々の願いにもかかわらず、汚染と破壊は続く。

今、私達は、カーソンの遺志をついでこのかけがえのない地球を後の世代に、どんな形で引き継いでいけばよいのか。ぜひ一度読んでみて下さい。

阿部 慎平

「敵」 安西 辰夫著・安西建工社
死を考え始めた一人の老人の日常をさまざまな面から描いた半自伝的な一冊。生活、貯金、女など自分にせまってくる敵に対し、静かな死を望む老人。なかなかおもしろいです。

安齋 勝

「私をかえた運命の一打」
阿部 徹著・PHP研究所
私は、これで、すべてを失いました。

伊藤 仁志

「白仏」 辻 仁成著・文芸春秋社
本当は紹介したくないんです。この感動は自分だけのものにしておきたい。けれども、みんなと共有もしてみたい……。一生モノの大切な一冊がある人は、この気持ちわかってくれますよね。

江尻 光秀

「地球環境のウソホント」
大浜 一之著・講談社
地球環境問題を色々な視点から検証している。少々コミカル調で読みやすい本。環境に興味ある人はぜひ。

大内 高志

「十九、二十」 原田 宗典著・朝日新聞社
十九の夏休みに、エロ本屋でバイトすることになった大学生、山崎のさえない日々を文体が高野先生に似ていると噂のジャンボリーな小説家、原田宗典が描く純文学の金字塔。

大和田 智弘

「奪われし未来」
シーア＝コルボーン、
ダイアン＝ダマノスキ
ジョン＝ピーターソン＝マイヤーズ著
翔泳社

生命の根元を齧かしている合成化学物質の危険性と生命の謎に迫る科学ドキュメンタリー。一度は読む価値のある本です。

小野 臣

「やさしい飲み水の話」
本間 都著・北斗出版

この一冊は、これまで飲み水についてあまり関心がなかった人や、家族のだれよりも多く水に接している主婦や、この地球にこれから生命をたくそうとする若い人たちのために書かれたやさしい本です。

小野 秀幸

「人類は21世紀に滅亡する!？」
松井 孝典著・徳間書店
不況、食糧問題、人口爆発、民族紛争、高齢化現象・・・様々な難問をブレイクスルーする方途とは?そして、これらの改善策が考えられている本です。

加藤 俊之

「月間 バンドジャーナル」
吹奏楽やってる人なら解る。

菅野 靖成

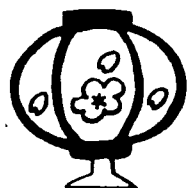
「インターネットⅡ ～次世代への扉～」
村井 純著・岩波書店
この本は、インターネットが急速に普及し、インターネットを安心して使うための牽引車として今後進むべき方向を示す。

草間 杏々子

「身近な環境問題最前線」
資源環境技術総合研究所編・森北出版
みんなでリサイクルに心がけ、ごみ問題を解決しましょう。

駒木根 紘一郎

「おやすみ、テディ・ベア」
赤川 次郎著・光文社
次々に悲運を呼び込むテディ・ベアをめぐる傑作ユーモア・サスペンス。



齊藤 慶一郎

「聖書の暗号」 マイケル＝ドロズニン著、
木原 武一訳・新潮社
コンピュータプログラムが解読する3000年
前に封印された預言にせまる。読んでみて下
さい。一度読んだらやめられないくらいはま
りますよ。

佐藤 裕二

「罪と罰・ナニワ人生学」
青木 雄二著・ハルキ文庫
ギャブルでは「負け男」だったが人生の
大勝負では「勝ち男」になったというナニワ
金融の作者である青木雄二の、人にはどうて
い真似の出来ない超人的な人生を描いている
自伝的一冊である。

志賀 治樹

「『復活』の超発想」
糸川 英夫著・徳間書店
複合不況のなかから芽を出すものはこれだ。
石油ショックで「逆転の発想」を出し、日本
ビジネスの奇跡の予言となった著者が困難脱
出の経営と未知の技術について語る。

四家 理恵子

「恋愛論」 柴門 ふみ著・PHP研究所
作者は、恋愛漫画やドラマ脚本家として人
気のある人です。この本の中では、女の子の
恋の悩みに答えていて、「ああ、なるほどね
え。」と勉強させられます。＜恋愛について
のヒント＞がいっぱいつまった一冊です。

白渡 和孝

「ロミオとジュリエット」
敵対する両家のロミオとジュリエットの切
なくて悲しい恋物語。二人の周りの様々な人
間模様。そして感動のラストシーンへ。二人
の恋の結末は・・・

菅波 剛

「若ハゲは止められるか」 大拙 博善著
この本は若ハゲに対して真剣に悩んでいる
人は絶対読んだほうがよいと思う。食生活で
のハゲ防止や遺伝によるハゲに対するアドバ
イスが詳しく書かれているので若ハゲかなあ
と思ったら一度この本を読んでみてください。



瀧澤 聖

「ありふれた手法」 星 新一著・新潮文庫
星 新一の作品はほとんど短編です。目次
→「総合診断」、「捨てる神」、「風と海」、
「石柱」、「あの星」、「吉と凶」、「天使」、
「名前」、「山道」、「数学の才能」、「夜
の山道で」、「監視員」・・・他20もの短
編からなる。

豊田 千衣

「アムリタ」 吉本 ばなな著
次の条件に2つ以上当てはまる人は、是非、
吉本ばなな著「アムリタ」を読むべし。少し
は面白いと感じると思う。
・ここ10年寝正月である。
・休みの日、ボーっとしていて気がついた
ら一日終わっていた。
・他人は他人、自分は自分である。以上。

野呂瀬 豊

「人間における勝負の研究」
米長 邦雄著・祥伝社
著者がプロ棋士なので例えとして将棋が使
われたりするが、それは一部だけなので誰に
でも読みやすい。

箱崎 寿幸

「変なおじさん」 志村 けん著
自分あんまり本を読まないんで推薦本で
のではないんですけど、面白かったのが志村けん
の「変なおじさん」ですね。これは、志村の
48年の生きざまを描いたものであり、ドリ
フマニアも必見ですよ。

藤田 理恵

「新グローベル 英和辞典」
木原 研三、福村 虎治郎著・三省堂
英語の時間にわからない言葉があったらぜ
ひこの本を。

緑川 徹

「創世の守護神 上、下」
グラハム＝ハンコック、
ロバート＝ポーヴァル著
大地 舜一訳・翔泳社
文明発祥の地であるエジプト。そこに残さ
れた謎の遺跡群に隠された太古の「知の遺産」
を追っていく。人類は何処から来て何処へ行
くのか？という最大の疑問に挑んだ超問題作！

皆川 俊章

「スポーツ起源異聞」 民明書房

この本によるとゴルフは英国で生まれたのではなく呉竜府という中国人があみ出した技だということになっている。この本が実在するかどうかは不明。

門馬 正彦

「黒い家」 貴志 祐介著・角川文庫

この作品はリングやパラサイト・イブが受賞した日本ホラー小説大賞の第4回目の受賞作品であり、この賞の受賞作品は映像化が約束されており、そちらの方もたのしみな作品。

吉田 州男

「一日一日の人生論」 三笠書房

偉人達の名言を短い説明入りで読む事の出来るこの一冊。インスタントではあるかもしれないけれど、物を考える良いチャンスになると思います。考える事をやめるな。

渡邊 久美子

「蓮如物語」 五木 寛之著・角川文庫

今から五百年ほど昔、飢えと貧しさに苦しむ民衆の心に希望の灯をともし、生きる喜びを与えた「れんにょ」の生涯物語。

【コミュニケーション 情報学】

相山 由里子

「ももこの話」 さくらももこ著・集英社

ちびまるこちゃんの作者のエッセイです。筆者の子供時代の話が盛り沢山です。楽しいです。表紙のデザインもかわいくて良いです。

我妻 さやか

「落下する夕方」 江國 香織著

8年間付き合った彼にフラれた女とその彼が好きになった女の共同生活を描いたこの作品は淡々とした文章ながら胸が締めつけられる。

飯村 敏男

「科学表現 ～基本と演習～」

井上 勝也著・培風館
良い文章を書きたい。良いレポートを書きたい人は必読。毎日読んでます。

石川 詠子

「アルジャーノンに花束を」

ダニエル=キイス著・早川書房
チャーリィが超知能をもつようになり、人生の悲しさ、憎しみ、愛情などを感じるようになった。その様子を描いた話だ。

石丸 智子

「不夜城」 馳 星周著・角川書店

金城武が主演の映画の原作本。映画よりも原作のほうがおもしろいと思った。

稲葉 朋子

「聖なる予言」

ジェームズ=レッドフィールド著・角川書店

1994年全米ベストセラーで、人類の意識の変革を告げる古文書が見つかるというストーリーのスピリチュアル・フィクションです。

薄井 亜希子

「風の旅」 星野 富弘著・立風書房

事故で体が不自由になった著者が、口に筆をくわえることで絵を描き、詩や文章をつづった本。見てると勇気づけられます。

大島 優佳

司馬遼太郎の本 出版社：いろいろ

これといった強烈なインパクトを受けたわけではないが、私の読んだ作品の中で一番心に残っている。そのあくのなさが好きです。

大和田 輝枝

「虫たちを探しに」

篠原 圭三郎著・日本放送出版協会

某古内先生に形見として頂いた(冗談)、虫好きにはたまらない(ある意味では虫嫌いにもたまらない)逸品。

大和田 美幸

「日出る国の工場」 村上 春樹著・新潮社

村上春樹の本は難しいイメージがあるけどこの本は、かつら工場や、人体模型工場等をレポートした読みやすい本です。

加藤 里美

「あしながおじさん」

Jean Webster著、松本恵子訳・新潮文庫

手紙形式で書かれた心温まる楽しい小説です。「続あしながおじさん」も読んでみて下さい。

菊池 恵一郎

「ウッドストック 1969年・夏の真実」
マコーワー、J著、寺地五一訳・新宿書房
音楽好きにおすすめ。愛と平和と音楽の三日間。ドラッグ、セックス、ロックンロール。そしてヒッピー。

木村 梢

「ハロー？」
ヨースタイン＝ゴルデル著・NHK出版
もうすぐ妹ができる男の子ヨアキムと宇宙からきたミカのお話。絵がとてもきれいです。作者は「ソフィーの世界」のヨースタイン。

興野 直樹

「ねじまき鳥クロニクル」
村上 春樹著・新潮文庫
今はまちがった時間です。あなたは今ここにいてはいけないのです。

小関 香織

「小さな自分を捨てる法 人間の器量」
櫻木 健古著・KKベストセラーズ
「心の操作」ひとつで、自分を大きい人間にすることが可能である。と筆者は考えていて、その方法（心の操作方法）を描いている。

小関 祥子

「センチメンタルな旅。冬の旅」 新潮社
アラキー氏と奥さま陽子さんの、新婚旅行から、陽子さんのお葬式までを撮った写真集。写真が泣いているということがわかります。

後藤 正臣

「新約聖書」 国際ギデオン協会
国際ギデオン協会は、無料で聖書を配布しています。

齋藤 浩一

「あるべき明日」 PHP研究所
堺屋太一経済企画庁長官が日本の組織体制や制度についてどのように改善すべきかを著しています。組織論に興味ある人は読んでみる価値あり。

佐々木 久美子

「おいしい色えんぴつ」
視覚デザイン研究所
卒研のために買った本。全ページ色鉛筆のみで描かれていて、見てると心が落ち着く。

志賀 将

「いのちの初夜」 北條 民雄著・角川書店
これは当時、不治の病だったハンセン病に感染した人が、死の恐怖を見つめながら一晩を過ごすというもの。短編集で読み易いです。

滋野 淳

「アンネの日記 完全版」
深町 眞理子訳・文春文庫
他人の日記を勝手に読んでいる自分に嫌気がさした。

菅 香奈子

「海の冒険者達」 中田 一太著・新紀元社
古代ギリシャの伝説からヴァイキング、大航海時代、バカニーアまでてんこもり歴史読本。

鈴木 佳奈子

「あなたのお客さんになりたい」
中谷 彰宏著・三笠書房
サービス業をするにあたってのアドバイスが載っている本です。人との接し方など日常生活においても役立つ情報も多くあります。

鈴木 ひとみ

「ただのおじさん」
絵本なのだけれど、かなり笑える。くだらないんだけど、ほのぼのしたギャグがちらり見える。「ただのおじさん2」もある。

関 亜希子

「空飛ぶトナカイの物語」
R・サリバン著・集英社
サンタさんなんてどうせ親じゃんと思ってる人もこの本を読めば考えも変わるかもしれない本。

千尋 大輔

「国際政治」
松本 三郎、大畠 英樹、中原 喜一郎著
有斐閣ブックス
国際政治の諸問題をはじめ、世界各国の将来展望についてまじまじと書いてある本です。

富樫 郁恵

「宙ノ名前」 林 完次著・光琳社
一度「白線流し」というドラマにも登場。
この本は、星座や天体の写真でいっぱいです。

中田 健二郎

「一夢庵風流記」隆 慶一郎著・集英社文庫
戦国武将の生き様を豪快に描いた作品。ス
ゴイ。

生田目 太介

「世界の終りてハードボイルドワンダーラン
ド(上、下)」村上 春樹著・新潮文庫
彼の作品で一番気に入っているのがこれ。
良い。彼の尊敬するフィッツジェラルドの短
編集も面白い。文学読め、文学。

根本 香

「本当は恐ろしいグリム童話」
桐生 操著・KKベストセラーズ
誰もが一度は読んだり聞いたりした事のある
グリム童話の裏話です。もし暇があったら
一度目を通して見て下さい。

箱崎 沙織

「霧が晴れた時」
小松 左京著・角川ホラー文庫
角川ホラー文庫にはハズレがない。あらゆる
「怖さ」を網羅しているからだろう。その
中でも抜きん出て怖いので推薦書の筆頭に挙
げる。



古市 智恵

「いまを生きる」N・H・クラインバウム著
この中に出てくる先生の様なすばらしくて
楽しい先生に、私もいつか会ってみたいと
思っています。

前田 隆志

「病院で死ぬということ」
山崎 章郎著・主婦の友社
日本人の死因の第一位はガンだという。こ
の本は、病院で死んでいくそんな人たちの物
語を描いたものである。

増田 英典

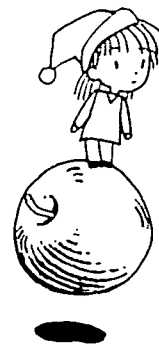
「白夜(上)」菊地 晃著・角川書店
主人公の杉山さんがたくさんの感動を伝え
る話。

山野邊 竜介

「フィヨルド」徳永 隼人著・角川書店
フィヨルドの誕生から現在まで、手にとる
ように分かり、これはおもしろく読みがいがある。

渡辺 弘明

「生存者(上、下)」
ディーンクーンツ著・アカデミー出版
最近読んだ本で全米でベストセラーした本
です。ある男が先端技術によって生みだされ
た力によってふりまわされてゆく物語です。



図書館便り

☆学年学科別図書帯出冊数（平成10年4月～12月）

学 年	1年	2年	3年	4年	5年	合 計
機械工学科	10	168	294	372	100	944
電気工学科	12	22	133	453	248	868
物質工学科	4	189	155			1267
工業化学科				740	179	
建設環境工学科	31	123	207	70		572
土木工学科					141	
コミュニケーション情報学科	33	27	35	229	216	540
合 計	90	529	824	1864	884	4191

☆図書貸し出し冊数ベスト10（平成10年4月～12月）

1	村山 英司	（工業化学科4年）	241冊
2	吉成 悦子	（工業化学科4年）	62冊
3	ロザリ	（電気工学科4年）	61冊
4	服部 直明	（工業化学科4年）	57冊
5	松橋 北斗	（機械工学科2年）	49冊
6	酒井 幹夫	（電気工学科4年）	43冊
6	渡部 寛之	（物質工学科2年）	43冊
8	加澤 英子	（工業化学科4年）	42冊
9	内藤 忠相	（工業化学科5年）	38冊
10	磯上 幹夫	（建設環境工学科4年）	36冊



☆ 平成10年度 感想文コンクール応募作品（◎ は最優秀作品 ○ は優秀作品）

- ◎ [1] 「出会い」 電気工学科 1年 佐藤 健二
- ◎ [2] 「時をさまようタック」 コミュニケーション情報学科 1年 北野澤 頼子
- [3] 「たんぼぼの家」を読んで コミュニケーション情報学科 3年 芳賀 敦子
- [4] 「ケンジ先生」（成井 豊著） 電気工学科 3年 永塚 和之
- [5] 「友情」（武者小路実篤著） 建設環境工学科 3年 渡部 真規子
- [6] 「私と年齢 読書の楽しみ」 コミュニケーション情報学科 3年 山岸 幸
- [7] 「淳」（土師 守著） コミュニケーション情報学科 3年 渡邊 景子
- [8] 「空想科学読本」（宝島社、柳田理科雄著）の紹介 電気工学科 5年 渡辺 剛史

お知らせ

★★学年末休業特別貸出について★★

下記のとおり実施します

特別貸出開始	・・・平成11年3月 1日(月)
貸出限度冊数	・・・一人5冊まで
返却期限	・・・平成11年4月 9日(金)

★★閉館のお知らせ★★

学年末休業期間中

平成11年3月10日(水)～平成11年4月5日(月)

は閉館いたします。

★★その他★★

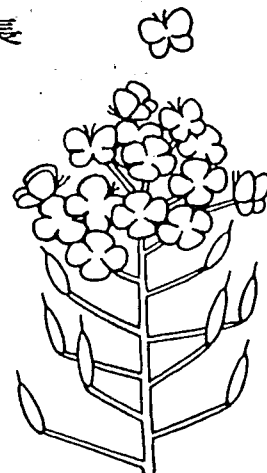
◎現在帯出している図書で引き続き必要な場合は、カウンターで継続手続きを行って下さい。
また一人で長期間独占しないよう期日には必ず返却して下さい。

★★ 5年生全員へのお知らせ ★★

帯出図書・卒業研究用帯出図書を 2月19日(金)までに 返却して下さい。
--

◎期日までに返却できない場合は、その旨を図書係に連絡して下さい。
なお、連絡がないときは、保護者あるいは保証人に督促状を発送する予定です。

図書館長



平成10年度図書委員会

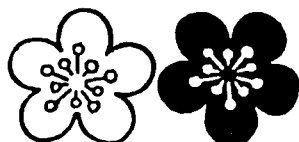
図書館長 亀井 秀也(機械工学科)
副館長 (ビブリア担当) 大槻 正伸(電気工学科)

委員 一色 誠太(機械工学科)	山本 敏和(電気工学科)
大澤 英一(工業化学科)	官野 一彦(建設環境工学科)
阿部 妙子(コミュニケーション情報学科)	高橋 宏宣(一般教科)
岡部 久雄(庶務課長)	鮫島 和弘(図書係長)
大谷 敦子(司書)	薄井 久美子(図書係)

学生図書委員

5 M *清水 正彦	5 E 稲葉 俊明	5 C 成田 圭介	5 土 齊藤慶一郎	5 コ 大和田美幸
5 M *早川 直樹	5 E 渡辺 剛史	5 C 渡辺 幸次	5 土 皆川 俊章	5 コ 増田 英典
4 M 石井 宏明	4 E 斎藤 優弥	4 C 宮島 隆行	4 建 磯上 幹夫	4 コ *五十嵐陽子
4 M 渡辺 好司	4 E 田中 亘	4 C 村山 英司		4 コ *矢萩 千春
3 M 高萩 耕司	3 E 斎藤 泉	3 物 坂本 智美	3 建 *栗谷川朋子	3 コ 森田 千絵
3 M 山下 真樹	3 E 馬目 高志	3 物 根本 千裕	3 建 *渡部真規子	3 コ 山岸 幸
2 M 川島 祥司	2 E 加藤 草太	2 物 *田中 順子	2 建 清野 博臣	2 コ 千代 理絵
2 M 平田 祐護	2 E 佐藤 雄二	2 物 *上野臺恵介	2 建 長谷川 怜史	2 コ 高橋 康孝
1 M 大関 伸治	1 E *斉藤優美子	1 物 橋本 健志	1 建 松崎 拓歩	1 コ 本田 弘恵
1 M 鈴木 堅丈	1 E *長谷川 愛	1 物 永山 睦月	1 建 吉田由香理	1 コ 緑川 里美

(* 印はビブリア編集委員)



編集後記

もうすぐ卒研発表、期末試験です。勉強、研究に苦しくなると、無性に本が読みたくなることはありませんか？ 現実逃避の例ですね。チェスや将棋をするコンピュータも、現実逃避するのを知っていますか？「少し先に自分に不利な局面があるなあ。」というときに、無意味な手をくり返し、いやなことを先のばしにする、という現象です。コンピュータと将棋対戦した人なら経験があるでしょう。例えば「歩を打って、その歩を成り捨てる」動作を、歩がなくなるまで繰り返す場合などです。これは、「水平線効果」と言って、人工知能学者を悩ませています。しかも、コンピュータは人間とちがって、それが無意味であることに気づいていない、というのも少し間抜けでかわいいものですね。

皆さんは、無意味な現実逃避はやめて、時間をうまくつくって、いい本を読んで下さい。

さて、今回は、卒業生各クラスで自由形式で、推薦図書をあげてもらいました。クラスによって、無記名で、全員一冊ずつ、希望者のみ、というようにいろいろな形式になっていますが、面白そうな本がたくさん紹介されています。長期休業はぜひいい本を読んで下さい。